

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミA	単位認定	1	片山 雅男

【授業のテーマ及び到達目標】

幼稚園・保育園における飼育・栽培活動を通して、幼児期の多感な子どもたちに豊かな自然活動が提供できるような保育者を目指す。生き物への先入観を捨て、生ある物としての取り扱いができるようになる。

【授業の概要】

演習を中心に、適宜画像を交えた講義も行なう。春から夏の主要な動植物の飼育・栽培活動を取り上げ、保育への活用を考える。天候や季節の状況、授業の進行上、授業順・内容の一部が変更されることがある。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション・ゼミ訪問1、2
2. ゼミ選択・講義開始: 幼稚園・保育園における飼育・栽培と講義内容の紹介
3. 草花・野菜の栽培 (1) 栽培方法の検討と準備 (鉢と用土)
4. 草花・野菜の栽培 (2) 種まき、苗の植え付け
5. 淡水魚の飼育方法 (キンギョ・メダカ)
6. チョウの飼育方法 (アオムシ・ナミアゲハ)
7. 水生動物の捕獲と飼育方法 (カエル・サワガニ)
8. カタツムリの飼育方法
9. 昆虫採集の方法 (チョウ、トンボ、セミ、甲虫)
10. 危険な動物と植物
11. 課題研究 『春から夏の飼育・栽培を保育に活かすために』・ テーマ設定と研究計画
12. 論文・レポートの書き方
13. 論文作成 (1) 内容の検討
14. 論文作成 (2) 文章の検討
15. 『魅力ある保育ナチュラリストを目指して』

【準備学習の内容】

予習のあり方: 授業に先立って、取り扱う内容についての情報収集を行なうこと。

学習のあり方: 授業内容について、オリジナリティのある保育への活用・応用を考えること。

復習のあり方: 保育の現場で子どもたちに各内容をどのように体験させるかを考え、まとめること。

【成績評価】

提出物(30%)、受講態度(20%)、期末レポート等(50%)により評価する。

【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】

レポートの初稿を添削指導し返却する。これを元に完成稿を作成する。

【テキスト】

テキストは使用しない。必要に応じて、プリントを配布する。

【参考文献】

授業の中で随時紹介する。